

2025 年 11 月 26 日

各位

東京建物株式会社

タイ・バンコクでラグジュアリー分譲マンション開発事業に参画 全戸専用エレベーター、スカイプール、ジム、スパ等を完備 バンコク中心部、アソーク駅至近、スクンヴィット通り沿いの希少立地

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 小澤 克人、以下「東京建物」）のタイ子会社である Tokyo Tatemono (Thailand) Ltd.（以下「東京建物タイランド」）は、タイ・バンコクでラグジュアリークラスの分譲マンション開発事業「STILL Sukhumvit 20（スティル スクンヴィット 20）」（以下「本事業」）に参画し、2025 年 11 月より VIP 顧客向けの販売を開始しましたので、お知らせします。

なお、本事業は、タイの大手デベロッパーである SC Asset Corporation Public Company Limited（本社：タイ王国バンコク都、以下「SC 社」）と共同事業であり、SC 社との共同事業は 7 件目となります。



● 本事業参画の背景

タイでは観光業を中心とした経済成長が見られ、国内の富裕層の増加に加え、海外からの流入も拡大していることから、今後もラグジュアリークラスの住宅需要が見込まれています。中でも首都バンコクは、温暖な気候、豊かな食文化、質の高い生活サービス（インターナショナルスクールや国際水準の医療など）などが評価され、世界中の富裕層にとって魅力的な居住先として注目を集めています。

東京建物が日本国内で培ってきた分譲マンション開発のノウハウと、SC 社のタイにおける開発実績および富裕層向け販売ネットワークを生かすことで、タイにおける良質な住環境を提供するとともに、今後もさらなる事業の創出と事業規模の拡大を目指してまいります。

● 本事業の立地について

本事業は、バンコクを代表する商業集積地であるアソーク・プロンポンエリアにおいて、ラグジュアリークラスの分譲マンションの開発を行うものです。バンコクを代表する目抜き通りであるスクンヴィット通り沿いに位置し、BTS スクンヴィットライン「Asoke(アソーク)」駅・「Phrom Phong(プロンポン)」駅、MRT「Sukhumvit (スクンヴィット)」駅の2路線3駅が利用可能な利便性の高い立地です。アソーク駅はバンコクで第2位の乗降客数を誇り、交通の結節点としても重要な役割を果たしています。周辺にはベンジャキティ公園やベンジャシリ公園といった大規模な緑地が広がっており、オフィスや大規模商業施設が集積するバンコクの中心部にありながら、自然環境にも恵まれています。また、インターナショナルスクールや国際水準の医療を提供する病院などの生活利便施設も充実し、日本人や欧米人を中心とした外国人にも人気のエリアです。さらに、高速道路出入口まで車で約5分とスワンナプーム国際空港をはじめとした、バンコク近郊への車でのアクセスも良好です。

● 本事業の特徴について

本事業は、総戸数124戸を誇るラグジュアリークラスの分譲マンション開発事業です。専有部は、専用エレベーター（各フロア1戸専用）を備え、最高天井高3.5m、約85㎡～400㎡超の多彩なプランを提供します。

また共用部には、総戸数の約1.7倍にあたる216台分の自走式駐車場を完備します。さらに、スカイプール、フィットネスジム、スパなどを備え、国内外の富裕層が快適に暮らせる世界基準のアメニティを提供します。



外構



スカイプール

● 本事業の概要

物件名	STILL Sukhumvit 20（スティル スクンヴィット 20）
所在地	タイ王国バンコク都クロントゥーイ区
交通	BTS スクンヴィットライン「Asoke(アソーク)」駅徒歩5分 MRT「Sukhumvit（スクンヴィット）」駅徒歩5分 BTS スクンヴィットライン「Phrom Phong(プロンポン)」駅徒歩8分
敷地面積	3,550 ㎡
延床面積	34,179 ㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地上30階建
用途	住宅（124戸）
着工	2026年4月
竣工	2028年9月

● 本事業位置図



● 共同事業者について

本事業の共同事業者である SC 社（SC 社グループ会社を含む）は、東京建物がタイにおいて分譲マンション、物流倉庫開発事業、戸建て開発事業を共同で推進しているパートナーであり、戦略的事業パートナーとして、今後も継続的に新規プロジェクトの共同での推進について協議していくことで合意しています。

SC 社概要

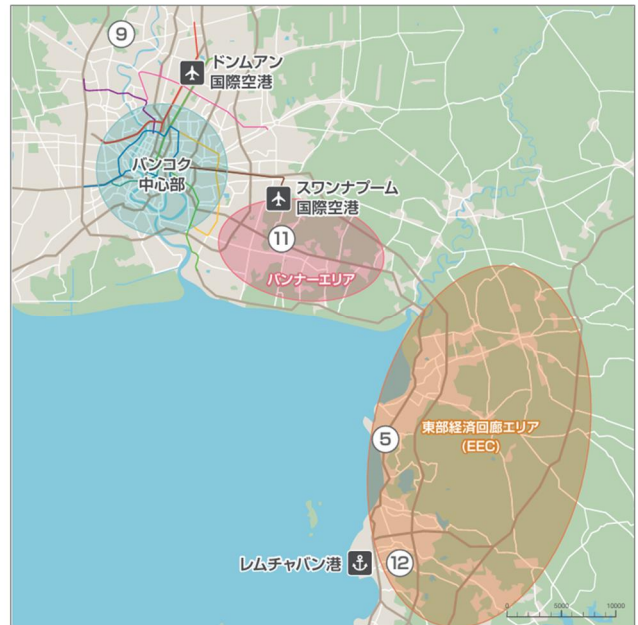
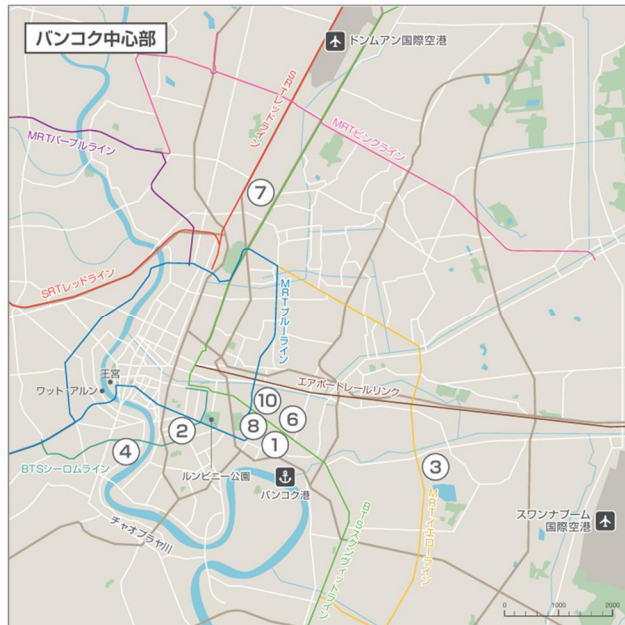
社名	SC Asset Corporation Public Company Limited
本社所在地	1010 Viphavadi Rangsit Road, Chatuchak Sub-district, Chatuchak District, Bangkok, Thailand
設立	1995 年
事業内容	住宅開発（コンドミニアム、戸建て、タウンハウス）
代表者	Nuttaphong Kunakornwong（CEO）

● 東京建物の海外事業について

東京建物は、2030 年を見据えた長期ビジョン「次世代デベロッパーへ」において海外事業の拡大を重点戦略の一つと位置付け、現中期経営計画期間（2025-2027 年度）において海外事業については 1,100 億円の投資を計画しています。現在、米国、オーストラリア、タイ、中国等において分譲マンション・賃貸マンション・オフィス・物流施設等の開発事業を展開しています。

これまで国内外で培ってきた経験とノウハウを最大限に生かし、海外における更なる事業機会の獲得に取り組んでまいります。

● 東京建物のタイにおける事業位置図



分譲マンション（コンドミニアム）

- ① The Estelle Phrom Phong (スクンヴィット 26PJ)：157 戸、2022 年竣工
- ② Tait Sathorn 12 (サトーン PJ)：238 戸、2023 年竣工
- ③ Atmoz Oasis Onnut (オンヌット PJ)：1,110 戸、2023 年竣工
- ④ Reference Sathorn Wongwianyai (リファレンス ウォンウェンヤイ PJ)※：818 戸、2024 年竣工
- ⑤ Kave Coco Bangsaen (ケイブ・ココ PJ)：974 戸、2025 年竣工
- ⑥ Reference Ekkamai (リファレンス エカマイ PJ)※：396 戸、2027 年竣工予定
- ⑦ Reference Kaset District (リファレンス カセサート PJ)※：387 戸、2027 年竣工予定
- ⑧ STILL Sukhumvit 20 (スティル スクンヴィット 20) ※：124 戸、2028 年竣工予定

分譲戸建て

- ⑨ Pave Kanchana-Ratchaphruek (ペイブ KR PJ)※：319 戸、2024 年より順次竣工

オフィスビル

- ⑩ Quant Sukhumvit 25 (スクンヴィット 25PJ)：延床面積約 9,500 m²、2023 年竣工

物流施設

- ⑪ SCX Logistics Bangna Km.20 (メトロキャット PJ)※：延床面積約 78,252 m²、2025 年より順次竣工
- ⑫ SCX Logistics Laemchabang (レムチャバン PJ)※：延床面積約 46,602 m²、2025 年全体竣工

※印は SC 社または SC 社のグループ会社との共同事業

※ 本リリース中のイメージ画像や施設概要は現行の計画に基づくもので、変更となる可能性があります。

以上